

■欧州：欧州統計局、EUにおける2014年下期の家庭用電気料金水準を公表

欧州統計局（Eurostat）は2015年5月27日、EUにおける2014年下期の家庭用電気料金水準を公表した。それによると、EU加盟28カ国の家庭用電気料金は前年同期比で平均して2.9%上昇した。上昇率が最も大きかったのはフランス（10.2%）であり、一方マルタでは同期間に電気料金が26.2%値下がりした。電気料金水準をユーロ換算で比較するとデンマーク（30.4ユーロ/100kWh）が最も高く、ドイツ（29.7ユーロ/100kWh）がこれに続いた。購買力平価（PPS）ベースではドイツの電気料金が最も高かった。一方、電気料金が最も安い国はブルガリア（9.0ユーロ/100kWh）であり、これにハンガリー（11.5ユーロ/100kWh）が続いた。上位2カ国においては、電気料金の半分以上を付加価値税、再エネ導入賦課金等の公租公課が占めている（デンマーク57%、ドイツ52%）。